

ODA おしゃりん

第 168 号

2024 発行
3月

◎会員投稿

—— 小嶋 晴樹さん

2-3p

経肛門的洗腸療法導入その1

4-5p

職員紹介 齊藤友二さん／職員募集のお知らせ

5p

障がい者ITサポートセンターご紹介！

6p

ゆんたくカフェ in なご

7p

青い鳥はがきのご案内／寄稿のお願い／編集後記

8p

NPO法人

〒901-2121

E-mail

ホームページ

facebook

Skype ID

沖縄県脊髄損傷者協会

沖縄県浦添市内間5丁目4番3号 ハウジングシーサー101号

office@okisekikyo.com

http://okisekikyo.com/

hhttps://www.facebook.com/61555401833581

okisekikyo

TEL.098-961-6715/FAX.098-961-6716

表紙写真：小嶋 晴樹

会員投稿

皆さま、こんにちは。

会員の小嶋晴樹と申します。

春の暖かさが感じられる頃となりましたがいかがお過ごしでしょうか。



私ごとであります、3月17日(日)に沖縄市社会福祉センターにおいて開催された、沖縄市障がい者福祉協会三線サークル「うぐいす会」のイベント「第2回 つくろう 広げよう 芸能の輪」にハーモニカ奏者として参加してきました。



はじめに、「うぐいす会」とは、視覚障がい者や発達障がい者の人たちが家にこもらず、音楽を通して生きがいや交流を図ろうと約51年前にボランティアから発足した会で、歌や三味線の稽古に励んでいるグループのことをいいます(3月27日、沖縄タイムス朝刊より抜粋)

ステージでは地元自治会の方々による三線の演奏や琉舞、子供たちによる太鼓の演奏、指笛の継承に取り組んでいる「指笛王国おきなわ」による指笛演奏など、たくさんの方々

こじま はる き
小嶋 晴樹さん

がパフォーマンスを繰り広げて会場は大盛況の賑わいとなっていました。

出演者の方々の年齢層も幅広く、4歳から94歳の方までいらっしゃいました。

プログラムは一部と二部に構成されており、私の出番は一部の最後となっていました。

私は、夏川りみさんの代表曲「涙そうそう」とBEGINさんの「島んちゅぬ宝」、坂本冬美さんの「また君に恋してる」の合計3曲を演奏させていただきました。

ステージに上がり、幕が開くと100名を超える観客の姿が目に入り、一瞬緊張しましたがBGMが流れ始めると演奏することに集中いたしました。

1曲目の「涙そうそう」を演奏し終わった後に観客からの大きな拍手が聞こえたので2曲目以降は緊張が解れて自分なりに満足いく演奏をお届けすることができたと思います。

また、この日は、高校生のボランティアスタッフも大勢来られていて、音響係や、幕の開閉などを会の進行に重要な役割を担ってくれていました。

九州出身で沖縄に移住して20年を超える私ですが、今回のイベントに参加させていただき、沖縄の伝統芸能の素晴らしさを改めて感じさせられました。

最後に、今回のイベント参加にお声掛けいただいた、うぐいす会代表の佐久川様に心より感謝申し上げます。

また来年も参加できるよう、今後とも演奏活動を続けて参りたいと思っています。



イムス

第3種郵便物認可

障がい者 三線交流半世紀



オープニングで歌三線と琉舞を披露するうぐいす会や室川自治会のメンバーら=17日、沖縄市社会福祉センター

発表会盛況 120人来場

と室川自治会合同の「かぎやで風」「祝いの節」で幕開け。室川、登川、東松本、泡瀬第一自治会など各地域の三線サークルのほか、平良須賀子さん、志慶真京子さん、石嶺信子さん、照屋正子さんの各琉舞研究所が賛助出演して盛り上げた。指笛の継承、普及、発展に取り組んでいる「指笛王国おきなわ」が指笛演奏でイベントに花を添えた。

また、四肢障がい者の小嶋晴樹さんがハーモニカで「涙そうそう」「島人の宝」を演奏。優しい音色に会場者が手拍子で応え、アンコールも起きた。

イベントの最後は、21年前から障がい者らの支援を続けているうぐいす会代表世話人の佐久川洋一さんが「多くの関係者の協力でイベントを開催できた。来年もこの会場でお会いしましょう」と謝辞を述べ、会場みんなでカチャーシーを踊った。

市障がい福祉協会高良格理事長、市社会福祉協議会島田薫会長は「一人一人が支え合う平和で明るい社会を共に築きましょう。会の充実した活動を期待します」とあいさつした。

2024年3月27日 沖縄タイムスに掲載

民間車検場(沖指第590号)/(株)ミクニライフ&オート総合代理店
Nissin ニッシン自動車工業沖縄

身体障がい者用自動車運転装置・福祉車両製作・販売・レンタカー・車検・一般修理・板金塗装

TEL: (098) 958-6556
FAX: (098) 958-6522

〒904-0302 沖縄県中頭郡読谷村喜名 219
E-mail: info@nissin-okinawa.info

代表 山城 貞二



経肛門的洗腸療法導入 その1

2年から3年前に、脊髄損傷者協会での再生医療についての講演会后、ロビーにいらしたコロプラストの職員に依る説明を聞き大変興味があった。しかし、保険適応外で費用の面からして、導入に費用の負担がかかる為、諦めていました。従来の薬と座薬での対応で済ませていました。

1年半後、保険適用になる情報を脊髄損傷者協会の講演会で聞き、また、本年6月全国脊髄損傷者協会の福岡開催で更なる情報を得て確信し通院をしている病院から紹介状を頂き、経肛門的洗腸療法の門をたたきました。私の導入までの時間的手順は下記通りです。

2月27日 沖縄リハビリテーションセンター病院通常診察経肛門的洗腸療法の導入の話をする。

3月27日 沖縄リハビリテーションセンター病院通常診察 4月17日 大浜第一病院で診察をしているお話を聞く。考える旨医師に伝える。

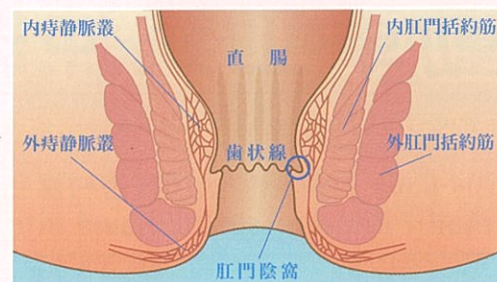
5月22日 沖縄リハビリテーションセンター病院通常診察

6月10日 全国脊髄損傷者協会第22回定時総会

7月3日 沖縄リハビリテーションセンター病院から紹介状頂く

7月3日 初新診察予約(大浜第一病院 天久)

7月31日 初診察(大浜第一病院 天久)
肛門内内部確認



8月24日 コンチネンス外来問診 大腸・肛門外来診察(大浜第一病院) 診察にて肛門括約筋の計測を行う。風船による膨らまし検査を行う。

9月7日 コンチネンス外来問診 大腸・肛門外来診察、経肛門的洗腸療法導入

・右のセットを使って洋式便座にて、洗腸を行う。



・コンチネンス外来看護師から操作説明文を渡され、その手順通りに操作を進める。
・初日の為、病院内でコンチネンス外来看護師と操作を進める。

手順は、

①水タンクに、1,000ccの水を入れる。
②カテーテルにバルーンが付いているので、空気を入れる。空気を入れすぎると破片に繋がり、肛門内部に傷が付かないように十分注意が必要、また、直腸に便があった場合、カテーテルが入りづらくなる為、直腸内を摘便などで確認をする。便が有る場合、座薬や摘便で取り除く。

③カテーテルを肛門に挿入したら、バルブを切替えてバルーンを膨らます。

④バルブを切替、医師の指示を受けた、水量をゆっくり入れていく。早く温水を入れた場合、腸の反応で排出作用が発生しカテーテルのバルーンの横から水の漏れが発生します。(5分から10分)

⑤医師から指示を受けた水注入が終わったら5分ほど保持し、カテーテルの空気を抜き肛門からカテーテルを抜取る。

⑥数回にわたり便・水分を排出される。私の場合、肛門からカテーテルを抜き取り後、50分から60分便座に座る。

9月7日 上記①～⑥の要領で経肛門的洗腸療法を導入、最大温水500ccで14日間連続導入を開始する。病院で行ったとき

は、水道水を利用したが、自宅では、温水にて行った。カテーテルのバルーン膨らましによる破損について少し気を遣う。この期間は、1回のトイレ時間が1時間半になるため、家族とのトイレ時間調整に苦労しました。(次号に続きます。)(片倉政人・会員)

職員紹介

会員の皆様、関係者の皆様へ初めまして。

この度、沖縄協の事務局でパート職員としてお手伝いすることになりました、齊藤友二と申します。法人の送迎業務や事務作業を少しずつですが担当させていただきます。

本業としては、読谷村で介護タクシーを個人運営しております。

通院の送迎はもちろんのこと、高齢者や障害をお持ちの方々が外出や思い出に残る旅行を楽しむようサポートしています。

その背景には、「一人ひとりが自由に、そして安全・快適に移動できる社会の実現」を強く願うての起業です。

まだ学ぶべきことも多く、皆様にご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、限られた時間の中で一生懸命努力し、皆様のお役に立てるよう尽力いたします。今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

職員募集のお知らせ

就労継続支援A型・B型事業所、障がい者ITサポートおきなわでは、サービス管理責任者と生活支援員の募集を行っております。

お知り合いで休職中の方がいらっしゃいましたら、お声掛けのご協力をお願いします。

詳細はハローワークでも求人情報を出しております。

【サービス管理責任者】

・仕事内容：個別支援計画作成、支援管理、支援員への指導・助言、関係者(機関)との連絡調整等
・給与：250,000円(手当等含む)

【生活支援員】

・仕事内容：パソコン業務の指導やサポート、送迎、日常生活の相談や健康管理など。
・給与：191,000円
・利用者定員：A型10名・B型20名
・勤務地：浦添市内間5-4-3 ハウジングシーサー1階
・勤務時間：8:30～17:30
・休日：土日祝(毎週/週休2日)
・手当て：資格手当、通勤手当、駐車場代支給あり
・加入保険：雇用、労災、健康、厚生

連絡先は砂川(098-961-6715)までよろしくお願い致します。

からだの痛み・悩みを
自宅で解消!



代表 林 秀一
TEL: 098-867-0006
FAX: 098-867-0008
〒900-0004
那覇市銘苅2-11-19
グローヴィーサイト新都心2F

琉球治療院

リハビリ・はり・きゅう・マッサージ

年中無休 9:00～18:00

沖縄県内全域で出張施術します。

0120-680-006

フリーダイヤル
mail info@ryukyu-chiryoin.com HP http://www.ryukyu-chiryoin.com/

① 障がい者ITサポートセンターご紹介！

障がい者ITサポートセンターとは？



沖縄県障がい者ITサポートセンターは沖縄県からの受託事業でICT（情報コミュニケーション技術）を通じて、障がいがある方の社会参加や情報バリアフリーを推進する目的で、「ITに関する相談」「講習会・セミナー」「情報支援機器の体験・貸出」「テレワーク（在宅就労）支援」をおこなっています。



スマート家電のおすすめ！

スマート家電とは、家電製品とインターネットを連携することでスマートフォンや音声アシスタントなどを使って遠隔操作や自動化することをができます。

脊髄損傷者に対してスマートホーム化は、生活の質を向上させるための素晴らしい方法です。

声やモバイルアプリを使って制御できるため、身体的な制限を持つ人々にとって特に便利です。

例えば、音声コントロール機能を利用してテレビや照明、エアコンを操作したり、スマートロックを使って家のドアを開け閉めしたりできます。また、スマートホームは自動化機能を備えているため、日常生活の様々な面で手助けをしてくれます。

さらに、スマートホームシステムは、留守中でも家の状態をリモートで監視し、安心感を提供します。

これらの機能は、脊髄損傷者の自立と生活の便利さを向上させるのに役立ちます。スマートホームは、身体的な制限を持つ人々がより快適で自立した生活を送るための強力なツールとなるでしょう。

気になる方はぜひ障がい者ITサポートセンターまでご相談ください。()

ウェブサイト▶ <https://o-it.jp/>

電話▶ 070-9237-8183

担当▶ 川田



沖縄県障がい者
ITサポートセンター
Okinawa Disability IT Support Center

ゆんたくカフェinなご



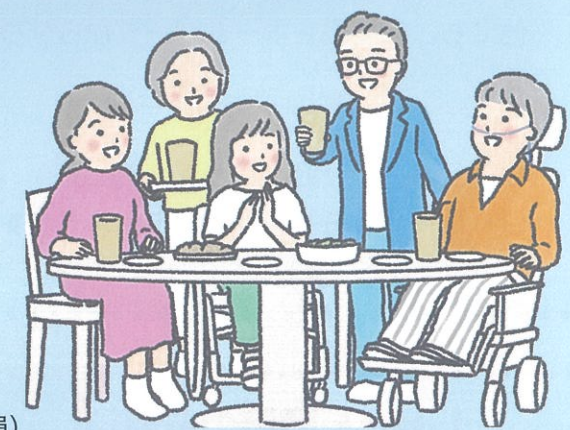
沖縄協ピアサポート部会では、各地域で、**ゆんたくカフェ**を開催しています。

今年度は4回目となり、去る2月25日(日)14時～16時までゲスト名護店にて「ゆんたくカフェinなご」を開催しました。

参加者は、会員に関わるヘルパーや事業所、障がい者対応ゲストハウス（海と風の宿）、介護タクシー（いまここ）と（山羊よしこ）の方もいて紹介等もあり総勢18名が参加していただきました。

初対面でお逢いする方もいて、日常とは違う新鮮な気分になったり、久しぶりに会う仲間もいて時間はあっという間で、コロナ禍もあり、いろいろな方に出逢う機会やイベント参加や外出等をためらう方もいたと思いますが、それぞれ自分の好きなランチやカフェを楽しみながら、地域生活の様々な悩みや困り事、情報等を共有交換しあいながら、リフレッシュの機会や気軽に楽しくゆんたくーできたのではないかと思います。

次回も色んな仲間や協力者等と会う機会があると思いますので**一緒にゆんたくーしましょう！！** 新垣正樹（会員）



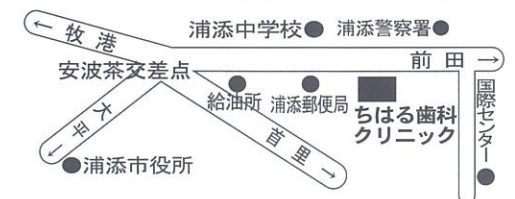
ちはる歯科クリニック CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9

☎(098) 877-6480

FAX (098) 877-9251

E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています！

対象者：在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。
病院、保険施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。

交通事故の法律相談

人身事故被害に関する法律相談は、
おもろまち法律事務所へ

那覇市おもろまち4-17-25 新都心ヒルズ804号室

弁護士 坂井大高（沖縄弁護士会所属）

【完全予約制】☎(098) 963-6268

※ご予約の際「しゃりん」を見たとお伝えください。



◆人身事故被害の【無料】法律相談を実施しています。
移動が困難な方には、出張相談や電話相談のご利用が可能な場合もありますので、お問い合わせください。
相談例：後遺障害等級、賠償金額の増額交渉、休業損害、慰謝料、労働能力喪失率、治療の打ち切り、自宅改造費用など

R.C.Y. Rehabilitation Clinic Yamaguchi

リハビリテーションクリニック
やまぐち

〒900-0003 那覇市安謝1-10-28

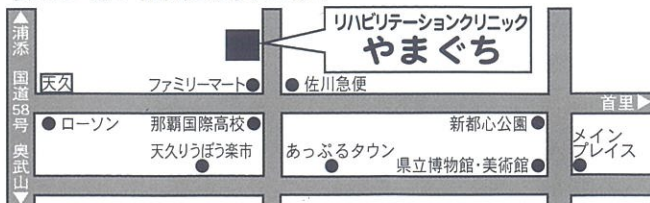
TEL098-864-1100

診療スタッフ
医師 院長 山口 健 リハビリテーション科専門医
副院長 山口 浩 整形外科専門医
リハビリテーション 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師

診療科目／リハビリテーション科・整形外科
診療時間 月火水木金土
午前9:00～11:30 ○○/○/○/○/○
午後2:00～6:00 ○○/○/○/○/○

▶身体機能訓練
▶身体能力訓練
▶言語訓練
▶摂食嚥下訓練
▶認知訓練

安らぎ・癒し・元気を提供します。





青い鳥はがきのご案内

日本郵便株式会社より「青い鳥郵便葉書 20 枚」の無償配布が今年も始まりました。対象が1・2級の重度身体障がいの方で、2024年4月1日から5月31日まで受け付けています。代理でも可能なので家族やヘルパーさんにもお願いできます。

以下の手順で申し込みができます。

①最寄りの(簡易郵便局ではない)郵便局に行く

②窓口で身障手帳を提示し「青い鳥郵便葉書配付申込書」に以下を記入する。

手帳番号・住所・氏名・希望する葉書の種類(無地/インクジェット紙)。印鑑は不要。

また、申し込み内容を書いた紙を最寄りの郵便局へ郵送するのもOKです。(書式は問わない)

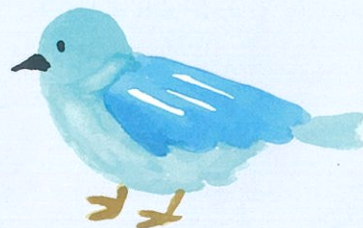
※郵送の場合は申し込み用紙と身体障害者手帳の写しとともに最寄りの郵便局に郵送してください。

なお手帳の写しは、別紙の内容(手帳の種類、級別または程度、氏名および住所)が確認できるページをお送りください。

他にも、申込書をホームページからダウンロードして印刷し、郵便局へ提出することも可能です。

ホームページ <https://x.gd/Jau6e>

QRコードからもサイトに行けます。▶



しやりん寄稿のお願い

沖縄協では、しやりんへの寄稿を募集しております。ご自身の褥そう体験や会員の皆さまへのニュースネタ、自己紹介、雑記など幅広く募集いたしております。オンラインフォームも用意しております。オンラインフォームへの入口はホームページにも設けております。

【オンラインフォーム】

<https://x.gd/0WxIR>



編集後記

今年も早いことで3月も過ぎ去ろうとしております。沖縄協では年度末で決算書類や申請書類等にスタッフの皆さんと協力し合いながら奮闘しております。スタッフの皆さんの頑張りにより心より感謝しております。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもありますので皆さんも体調にはお気をつけて素敵な春をお迎えお過ごしください。

広報誌しやりんを最後まで読んでいただいて、いつもありがとうございます。(副理事 宮城幸春)

いつも会費をお支払いいただき、まことにありがとうございます。
お支払いがまだの方は事務局にて直接、もしくはお振込をお願いします。

正会員
年間 3,600円

Rakuten 楽天銀行

楽天銀行 第二営業支店(普通) 7104311
トクビ)オキナワケンセキズイソンシヨウシヤキョウカイ

賛助会員(個人)
一口 3,000円

① 沖縄銀行

沖縄銀行 石嶺支店 (普通) 1520193
トクビ)オキナワケンセキズイソンシヨウシヤキョウカイリジチョウウイガトカズキ
(特非) 沖縄県脊髄損傷者協会 理事長 上里一之

賛助会員(団体)
一口 5,000円



琉球銀行

琉球銀行 石嶺支店 (普通) 445603
オキナワケンセキズイソンシヨウシヤキョ

ODA

発行 社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会
編集 沖縄県障害者社会参加推進センター

〒901-0516 沖縄県島尻郡八重瀬町字仲座 1038 番地 1
TEL(098)851-3455 FAX(098)851-3855
ホームページアドレス <https://www.okisin.jp>
Eメールアドレス okisinky@blue.ocn.ne.jp
頒価一部 100 円（会費に含まれています）

沖縄県障害者社会参加推進センターだより 第67号

沖縄県視覚障害者福祉協会

タンデム教室

タンデムとは二人乗り自転車のことで、前にパイロット、後ろにストーカーが乗車し二人で息を合わせて漕ぐ自転車です。パイロットが操縦することで視覚障害者が後ろで漕ぎ手となり一緒にサイクリングを楽しむことができます。



令和6年1月20日（土）に【令和5年度沖縄県障害者社会参加促進事業スポーツ・レクリエーション教室】として、沖縄県視覚障害者福祉協会主催、パラサイクリングクラブと沖縄輪業のご協力をいただきタンデム教室を開催しました。今年度はこれで4回目の開催となります。

これまでは公園内で教室を開き、タンデムの操縦方法やパイロットとストーカーで息を合わせる練習を行いましたが、今回初めて公道を走るコースにチャレンジしました。

お天気に恵まれた当日はうるま市にある『あやはし海中道路』を走行。往復で10km走りました。波の音や潮の匂いを感じながら走るタンデムは爽快で、参加した視覚障害者の方からは「楽しかった！」という感想をいただきました。今後もタンデム教室を通して、視覚障害者が楽しむことのできるスポーツやレクリエーションの場を広げていきたいと思ひます。

沖縄県友声会

令和5年度 音声機能障害者発声訓練指導員養成研修

喉摘者が声を取り戻す為の適切な手段を知り、再び声を取り戻して家族や友人と会話を交わし、職場や社会に復帰して以前と変わらない活動を行う事を目的に、令和5年度 音声機能障害者発声訓練指導員養成研修を令和5年12月16日（土）に障害者支援施設青潮園（宮古地区）を会場に、17日（日）には石垣市健康福祉センター（八重山地区）においてそれぞれ開催しました。



コロナの影響でなかなか開催できなかった本研修会は3年ぶりの開催となりましたが、久しぶりに会う面々に喜びを感じ、発声訓練のほかにも、がん患者会との情報交換も行い有意義な研修会となりました。次年度も引き続き研修会を実施していきたいと思ひますので、関係者の皆様のご協力をお願いいたします。

沖縄県手をつなぐ育成会

第57回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会



令和6年2月17日（土）、沖縄県総合福祉センターゆいほーにて『第57回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会』を開催致しました。

最初に福祉の向上にご尽力をされている方、勤務状況の模範とされる方への表彰が行われ、大きな激励とお祝いの大きな拍手が響きわたり、大会はスタートしました。

沖縄県こども生活福祉部障害福祉課の渡久山和之副参事の行政説明、全国手をつなぐ育成会連合会の又村あおい常務理事の講演、そして初めての試みである「座談会形式」での質疑応答が行われ、討議が盛り上がった際には一部では時間の延長を促す声も出ました。

今年は障がいのある方に対する社会参加機会の確保や自立した生活支援のために必要なサービスを定めた障害者総合支援法が、3年に一度の改定を行なう年であり、障害福祉サービス等報酬だけでなく、同時に医療・介護報酬も含めたトリプル改定の年であります。

今回の法改正にて注目すべき内容で、障害者地域支援体制の充実で現在厚生労働省より伝えられている改定に向けた主な論点は、暮らし方や就労に関する利用者ニーズへの柔軟な対応や虐待防止及び身体拘束の適正化の徹底、さらには関係機関との連携強化が大きな方向性となっています。

今大会では、会員の高齢化が進む現状を真摯にとらえつつも、保護者及びきょうだい会の活動をより一層推進すべく、広い分野の課題において、実践活動の成果を検証し、障がいのある方への理解啓発を推進するとともに、知的障がいのある人の支援体制について幅広い研究・討議を重ねました。本大会へのご支援・ご協力・ご協賛くださいました皆様に、心より感謝を申し上げます。

沖縄県聴覚障害者協会

第40回耳の日記念大会

令和6年3月3日（日）沖縄県総合福祉センターゆいホールにて、一般社団法人 沖縄県聴覚障害者協会主催「第40回耳の日記念大会」が開催され、270名の参加者で盛り上がりました。

講演会は、株式会社よしもとエンタテインメント沖縄の芸人たちで旗揚げした『劇団アラマンダ』の座長を務める大屋あゆみ氏を講師に招き、【コードとして生まれた私の選んだ道】と題して、幼少の時から耳が聴こえないろう者の両親に手話で通訳を続けて育ったが、日本語の同音異義語をどのようにして手話で伝えるのか、このまま両親の手話通訳者として人生を歩んでいくのかなど、コード（聴こえない両親から生まれて育つ聴こえる子ども）としての宿命に悩んだ事を真剣にお話されました。

また、「劇団アラマンダ」の活動を続けて、聴こえる人や聴こえない人、全ての方々が一緒に楽しめるコメディで



笑いを届けて幸せになってもらいたい、手話を勉強している方や手話を全く知らないけど興味がある方も楽しく学んでほしいと願いを込めて頑張っていることもよく分かりました。

これからも県民に、ろう者の文化・啓蒙などの理解をもっと深めていけるように、より多くの参加を呼びかけ、年齢層等に関係なく障がいのある人やない人など、誰にでも楽しめる耳の日記念大会を継承し続けて行きたいと思います。

引き続きアトラクションでは、聴覚障害者で結成し、12年間活動を続けている『琉球響太鼓』は、和太鼓の振動を体で感じ取り、県内各地で行われるイベントに出場して、聴覚障害者に対する認識を広めています。一生懸命バチを叩きながら演奏する姿に会場の参加者はとても感動していました。



令和5年度 第2回市町村身体障害者協会会長会議

令和6年2月27日（火）、南風原町中央公民館において、令和5年度第2回市町村身体障害者協会会長及び事務担当者連絡会議を開催しました。



はじめに沖縄県身体障害者福祉協会の令和5年度の事業報告・令和6年度の事業計画をお伝えしました。様々な市町村身障協等からの行事協力などに対応する【地域社会貢献事業】では、ボッチャやモルック体験など28件の依頼に対応しました。

各市町村身障協からの報告等では、那覇市身障協から、2034年の沖縄大会が内々定している『全国障害者スポーツ大会』に向けて、“障害者のためのスポーツ施設”の整備が求められることが意見として挙がりました。そのためには各市町村身障協から声をあげて県に要望していくことが大事であると認識を深めました。

与那原町障協、南城市身障協からは各種九州大会へ参加したことが、宜野湾市身障協からは行政・消防の協力のもと防災ワークショップを行なったこと、糸満市身障協からは市内の4学校をまわって当事者講演を行なったことなどが報告されました。



会の後半では障害について学ぶことを目的に『なきじん村耳マーク普及会』から酒井代表を招き、聴覚障害とりわけ難聴・中途失聴について講話をいただきました。伝音性難聴・感音性難聴のイメージ音源を聞き、“なぜ単純に大きい声を出しても駄目なのか”や、補聴器の苦手とすることを詳しく説明されました。さらに、難聴者の病院受診時の困りごとから、視覚支援の充実を求めた活動についての実例を紹介し、今後もより良いコミュニケーションのため合理的配慮を求めていきたいと締めくくりました。



令和5年度 障がい者防災ミーティング

令和6年2月27日（火）に南風原町立中央公民館 黄金ホールにおいて『障がい者防災ミーティング』を開催しました。この企画は、障がい者における防災のあり方を当事者及び支援者それぞれの視点から学び、障がいを理由とする差別をなくし、相互に支えあう共生社会の実現と障がい者の社会参加を促進することを目的に開催するもので『障がい者のための防災』をテーマに、東日本最震災で被災者となった、NPO法人ゆめ風基金 阿部俊介氏の講演、また、障がい者の災害自助力の向上について、早稲田大学人間学部健康福祉学科 古山周太郎氏による安心防災帳のワークショップを行いました。当日は県内各地から100名余の参加があり、参加者の防災への関心の高さがうかがえました。



阿部氏の講演では障がい当事者の目線でいろいろな話を聞くことができ、また古山氏の安心防災帳のワークショップでは日頃の備えについて改めて考えさせられました。

この防災ミーティングをとおして自分たちは何を備え、どのように行動すればよいのかということ学ぶ良い機会になったと思いますので、自助・共助・公助の連携の輪を広げながら、今後も防災について一緒に考えていきましょう。



ご寄付をいただきました

・令和6年1月19日(金) 翁長彰理事より
10,000 円の寄附がありました。

・令和6年3月17日(日) 国際空手道連盟極真
会館沖縄支部より 50,000 円の寄附金がありまし
た。『オープントーナメント極真沖縄空手道選手権
大会』はチャリティーとして今大会で31回目を迎
え、これまで多額の浄財を寄贈されてきました。



県民福祉の向上に大きく
貢献された功績をたたえ
て、第66回沖縄県社会
福祉大会では表彰を受け
ており、その感謝状の伝
達も行いました。



皆様からいただきましたご浄財は、障害者福祉
活動の推進に役立て有効に使わせていただきま
す。誠にありがとうございます。

みやらびカップ モルック大会 (ご案内)

障害者、施設職員、一般参加など…みんなで交
流を楽しむモルック大会こと【令和6年度 みやらび
カップ モルック大会】を下記日程で開催いたしま
す。開催要綱や申込については沖縄県身体障害者
福祉協会ホームページをご覧ください。

日時：令和6年6月29日(土) 9:00～
会場：金武町屋内運動場

モルックとはフィンランド発
の木製の棒を投げて、ピンを
倒し点数を得るスポーツです。



わったーしんかめちゃー

★地域身障協や関係団体のご紹介★

今回は、ユーモアとパワー溢れる富名腰会長
率いる**石垣市**の紹介です！

【石垣市身体障がい者団体協議会】

(富名腰 尚志 会長)

【会員数】約50名

【活動紹介】

- ・ボッチャ大会
- ・県スポーツ大会への参加
- ・忘/新年会
- ・研修会 など



【一言コメント】

ふなにし なおし
令和5年度から会長になりました『富名腰尚志』
です。若いパワーと会員皆さんの協力で石垣島
を盛り上げていきたいと思っていますのでよろし
くお願いします。



【問い合わせ】

住所：石垣市字大浜1349-43
磯辺第二団地3-102
TEL：090-5749-5586
MAIL：ishishinkyo2841@gmail.com

※その他の市町村身体障害者協会へ連絡を取りたい！
と思う方は、沖縄県身体障害者福祉協会へお気軽に
お問い合わせください！お待ちしております！

TEL：098-851-3455 FAX：098-851-3855
MAIL：okisin.sub@gmail.com

コロナにかかって。

今年の二月、コロナにかかりました。

前日からちょっと体調が変だぞ?でも一晩もしたら良くなるだろうとたかを括っていたら翌日、朝から体調が悪く念のためコロナ検査キットで検査。陰性反応だったので、安心していましたがだんだんと体調が悪化し、昼頃には微熱・頭痛・倦怠感・味覚障害等がでてきて、ここ15年くらい病気にかかったことない(実は、風邪とかかかっていたが気づいていない?!)くらい健康体の私が病院に行くことになりコロナとインフル検査を行いました。結果はコロナの陽性反応。次々と沢山の周りの人が罹患していく中、私だけが罹患せずにいたのでかからないと思っていましたが、とうとうその時はやってきました。その後、熱さましと喉の薬・医者からコロナに効くんじゃないか?だけど任意だよという薬を処方されました。



家に帰って薬を飲みましたが38度の高熱がでて、効いているのかな?と心配になるとともに薬を飲まなかったらどれくらい熱が出るんだろうかと思いました。その日はあまり眠れず睡眠不足のままきつい一日過ごしました。翌日から、熱がすこしは下がる程度できつさはあまり変わらず。しかし3日目から、だんだんと緩やかに回復していき、丁度一週間たつ頃にはだるさは残るものの体調が良くなっていました。

このきつい経験から、二度と感染したくないと手洗いうがいの徹底を心がけるようになり、コロナは5類に移行したけど去ったわけではなくまだ身近に潜んでいるとあらためて思いました。

(新垣展也)

新 職員紹介



あしみね

えりか

安次嶺 絵里加 さん

はじめまして! 4月1日から生活相談員として入社しました、安次嶺絵里加と申します。福祉関係の仕事は初めてで、さらにITにも疎いのでわからないことだらけですが、周りの方や利用者さんに広く深い心で教えていただきながら楽しく勤めさせていただいてます。

不慣れな点も多く、気が利かなく、御迷惑をおかけする場面もあると思いますが、その時は遠慮なく声をかけてください。

日々勉強しながら、皆さんと笑顔で仕事ができるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

新 職員紹介

あかみね あきら
赤嶺 昭さん

令和6年2月1日より生活支援員（パート）として入りました赤嶺昭と申します。

前職は皆さんご利用なさったと思います。浦添市宮城にありますサン・アビリティーズうらそえ（障がい者体育施設）で短い間ではありますが勤務していました。

福祉畑は長いのですが、主に障がいや支援の必要な児童と関わることが多かったです。

趣味は、家庭菜園程度の畑作業と、ジョギングです。

これまで皆さんが打ち込み作業をした県内のマラソン大会を主に参加しています。

PC技術は皆さんに劣りますが、体力だけはありますので、何らかの支援が必要であれば遠慮なくお声かけ下さい。こちらからも、声かけさせてもらいますので、どうぞよろしくお願いします。

皆さんこんにちわ！ 今回、前任のサービス管理責任者の退職に伴い仕事を引き継ぐことになりました。上里一之ともうします。

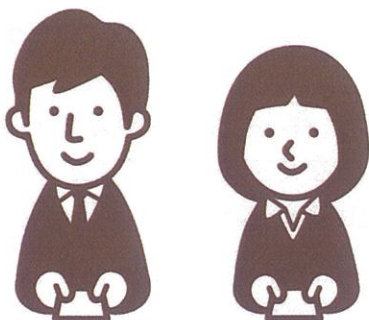
これまでの主な仕事は、相談支援専門員やピアサポーターとして活動してきましたが、就労のサビ管の仕事を担当するのは初めての経験で、これから職員の皆さんやA型・B型利用者の皆さんと協力しながら仕事を務めていきたいと思っています。

また、ICTの分野はアナログ人間な自分にとって、とても苦手な分野なので皆さんからいろいろと教えていただきながら自分のスキルも伸ばしていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。

新 職員紹介

うえざと かずゆき
上里 一之さん

名刺作成承ります！



新年度が始まると新しい出会いが始まります。コロナ禍も明けましたので仕事で人とあう機会はますます高まりますね。

そこで名刺の出番です。

弊所では名刺作成サービスを行っています。デザインがすでにある名刺（デザイン持ち込み）だと、片面100枚カラーで最低税込み2,200円から制作可能です。オリジナルデザインでの制作では税込み3,850円からとなっています。

また、名刺へ点字を打ち込む「点字打刻」サービスも1枚税込み11円で行っております。ぜひご利用ください！



おきしんきょう通信



— 沖縄県身体障害者福祉協会 —

経営理念

一、利用者本位

一、社会貢献

一、責任と実行

令和5年度 沖縄県身体障害者ボッチャ教室

広い世代の誰もが参加できるパラスポーツを通じて親睦と交流を深めることを目的に、令和6年2月23日(金)に沖縄県総合運動公園メインアリーナにてボッチャ教室を4年ぶりに一斉開催しました。開会式の中でデモンストレーションを行いながらルール説明を行ったあと、予選リーグ・決勝トーナメントで優勝チームを決定しました。



今回は令和5年10月に開催された鹿児島全国障害者スポーツ大会のボッチャ競技における県代表選手の参加もあり、他の参加者の皆さんと一緒に交流していました。予選リーグから白熱した試合が展開され、決勝トーナメントでは同点のまま終了となり、チームの代表者による1投勝負で決着をつけるサドンデスも多く、盛り上がりました。



結果は、1位/おりこーチーム(豊見城市身協)、2位/中城A、3位/いじゅチーム(金武町身協)・沖縄ボッチャクラブBとなりました。

4年ぶりの一斉開催も盛り上がりの中、終わることができました。参加された皆さま、開催・運営にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



♪ ちゃんぷる〜Paraフェスタ 2023

令和6年1月27日
(土) 豊見城市民体育館
を会場に、障害の有無に関わらず広い世代の誰もがスポーツ等を通じて親睦と交流を深め共生社会の促進に寄与することを目的に標記イベントを開催しました。



“ちゃんぷる〜”とは沖縄の方言で「ごちゃまぜ」という意味で、その名のとおり9種のスポーツ体験やダンスなどのステージ、【おきしんマルシェ】と名付けた事業所等による物品販売など、複合的なイベントとなりました。本事業は初めての取り組みでしたが、当日は、最年少1歳から最年長86歳と幅広い世代の参加があり、400名を超える皆様のご参集がありました。

また、本イベントの司会をハートフルシンガーとして活動している大城友弥さん(八重瀬町出身/全盲)が担い、会場を盛り上げていただきました。障害のある人もない人も一緒になり同じ空間・時間を共有することで、目的に掲げた『共生社会の促進』に寄与することが出来たと思います。



共催の豊見城市はじめステージ出演11団体、出店6団体、体験ブース9団体と多くの皆様のご協力のもと開催することができました。ありがとうございました。次年度も同時期・会場にて計画しておりますので出店・出演・参加のご協力をよろしくお願い致します。

沖縄県精神保健福祉会連合会

“伝統×福祉×SDGs”の試み

就労支援事業所『てるしのワークセンター』（南風原町）における取り組みのひとつに、沖縄の伝統工芸・紅型染めに関するものがあります。

昔ながらの技法、工程、染料をそのままに、布地の代わりにダンボールを使用し、利用者さんがひとつひとつ手染めを行ない、ノートや封筒といった雑貨に仕上げています。



商品名は『せかいにひとつ』。手がけるひとりひとりがその日の感性で色を染めているため、同じ作品をふたつ作ることはできないのですが、逆にその一回性を楽しんでいただこうというコンセプトを大切にしています。

この紅型クラフト『せかいにひとつ』が今年度、南風原町の地域ブランド推奨商品『はえばる良品』に認定されました！



2月3日・4日、イオン南風原店にて『ルンルンはえばるフェスタ』が開催され、初日には『はえばる良品』の認定式が行われました。

商品は県内各地のホテルやセレクトショップなどでもお買い求めいただけます。店舗などの詳しい情報は、右のQRコードよりてるしののホームページをご覧ください！



沖縄県身体障害者福祉協会

令和5年度 障がい者ピアサポート研修

自ら障がいや疾病の経験を持ち、その経験を活かしながら、他の障害や疾病のある障害者の支援を行うピアサポーター及びピアサポーターの活用方法等を理解した障害福祉サービス事業所等の管理者等の養成を図ることにより、障害福祉サービス等における質の高いピアサポート活動の取組を支援することを目的に標記研修会を開催しました。令和5年10月23日（月）～24日（火）に沖縄県総合福祉センターにおいて基礎研修、令和6年2月10日（土）～11日（日）に嘉手納町中央公民館において専門研修を行いました。

受講された皆さんにおかれましては、各々障がいも違えば職種も違います。研修内では、それぞれの抱える諸課題について、とても熱量のある活発な意見交換・発表などがあり、気づきと学びの多い有意義な時間を共有できました。



今年度は基礎研修及び専門研修を修了した40名の方がピアサポーターとしてその資格を得ることができました。今後もピアサポートの重要性とその認知度を高めていくためにもピアサポーターの皆さんがご活躍していくことを期待いたします。